

14-15 年度 マイカー乗るまあデー推進運動・献血支援活動を実施して

2015 年 5 月 31 日

昨日は、早くから雨模様だと予報があり 雨中の支援活動する者にとっても 傘 雨合羽を想像すると元気が出来なく 辛い日を過ごすと思っていましたが、なんと、朝から素晴らしい晴天となり 活動日和として気百倍な気分で、世話人として、8時にクレド ふれあい広場に集合しました。

私たち広島中央ロータリークラブは、社会奉仕活動の一環として、皆が安心して暮らすことのできる地域社会・環境を育むために、広島県赤十字血液センターと共同して献血支援活動を展開しております。また、長期プロジェクト委員会と連携して、温暖対策の二酸化炭素削減に向けたエコドリーム運動を導入して、マイカー乗るまあデーの推進に向けて運動を取り組んで来ております。こうした中、今回は 8 回目の街頭募集活動をしました。

実施展開に当たって私たちの活動に協賛して、2008 年から活動をしており、昨年は、県立広島大学・広島経済大学・広島女学院大学・広島修道大学・・・広島都市学園大学、広島工業大学、広島大学歯学部、広島国際大学の 8 大学の参加でしたが、今年は、広島大学歯学部と広島国際大学が行事等の都合で不参加になりました。しかし、新たに、広島市立大学安田女子大学が 賛同して下さって、市内の 8 大学が一緒になって活動をして参りました。

活動の理念を理解していただくために、5 月 15 日に「事前学習会」を開催し、広島市の道路交通局・都市交通部や健康福祉局の保健部 また 広島県赤十字献血センターからの講師を招いて、学生 23 名 法人会員の職員 4 名 会員を含めた 41 名が マイカー乗るまあデー及び献血の意義やボランティアについて一緒に学びました。

本番の街頭支援を 昨日実施し、会場は、基町クレドふれあい広場で、8 大学の学生 86 名と我が会員及び会員法人の職員 会員の友人、家族関係者 60 名の、総勢 150 名が、暑い中にも関わらず、支援活動を行って来ました。

今年も、献血バス 2 台配置して、待ち時間を有効に過ごすためのイベント会場には、スポーツ、健康、体験、鑑賞をテーマに楽しむ 5 つのブースを設けました。

具体的には、協賛していただいたドリンクサービス、野菜マルシェ、マジック広場 また特別支援学校から生徒さんが作ったお菓子を代表生徒さんが参加しているクッキーコーナー、似顔絵アーティスト、手作り鉛筆体験 千羽鶴再生ノート・ボールペンを設置し、また今年も 新たな試みとして、オーロラビジョンを借り上げ、各大学の紹介や当日の活動様子をアップして、特に各大学の代表学生さんに今回の活動支援の抱負や所感を述べていただく機会を設けて、最後まで賑わい 学生たちも喜んで頂きました。

こうした、企画に際し、ブース出展者や機材借り上げ等に協賛金を協力していただいた会員様には、厚く御礼申し上げます。

お陰さまで、学生さんたちの若さと、力強く明るくさわやかな声掛けで、我々会員も元気

をいただきながら 9 時半から 15 時半まで行い、事故も無く無事終わることが出来ました。参加者は、奉仕活動によって、気持ちの良い汗をかき、心豊かな時間を過ごせました。今回も、一緒になって活動展開したことによって、献血受付が昨年の 165 名（献血協力者 126 名）を上回り、献血受付が 173 名（献血協力者 125 名プラス 200CC の参加者 4 名併せて 129 名）を達成することが出来ました

このような素晴らしい成果を収めることが出来たのも、会員の皆さんは勿論のこと、学生さんの力強い活動の賜物と感謝しております。

継続は力なりと言いますが、今後とも 広島中央ロータリーは「命の重み」をテーマとして、皆が支えあい、安心して暮らすことの出来る地域社会作りの一助となるように 発信して行きます。

奉仕プロジェクト委員会 理事 神田 栄治